

競技上・審判上の注意

本大会は、現行の（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程並びに公認審判員規定に則って行います。

また、新型コロナウイルス感染防止のため、別紙「**コロナウィルス感染症対策ガイドラインに則した本大会の運営について**」を遵守して行います。

1. ID カードについて

ベンチおよびコーチ席に入る際は、監督（赤）・マネージャー（黄）・外部コーチ（緑）を必ず首から下げて下さい。

ID カードは受付で監督・コーチ・マネージャーに配布します。帰る際は本部席まで返却をお願いします。

2. 服装について

(1) 監督・コーチ・マネージャー

公認審判員規定第3条第5項(6)②に定められているとおりの服装で試合に臨んでください。

ふさわしくない服装でベンチやコーチ席に入っていた場合は、着替えや退場をお願いする場合があります。

(2) 選手

（公財）日本バドミントン協会の検定合格品であるユニフォーム、アンダーギアを着用してください。背面には学校名と選手名が明記されたゼッケンを4点でつけてください。試合開始前は、シャツをパンツまたはスカートの中に必ずしまってください。

3. ベンチについて

(1) 個人戦 ID カードを身に付けた監督・マネージャー・外部コーチの中から1名がベンチに入れます。

(2) 選手がエンドを替える時はベンチも一緒に交代して下さい。椅子は消毒しますので、移動する必要はありません。

(3) サイドコーチができるのは一度に2名までです。

4. 試合前の練習について

(1) 選手はすぐに試合ができる服装（ユニフォーム・ゼッケン）でコートには行ってください。

(2) 各グループ、タイムテーブルで割り当てられた20分（10分）のみ、練習できます。対戦相手と練習してください。

試合直前練習は出来ません。

5. 審判について

(1) 本大会は、主審は原則敗者審判で、線審1人は勝者が、得点係ともう一人の線審は、組み合わせグループ内で協力して行ってください。できる限り、次に試合のある者を線審に入れないようにしてください。学校に関係なく協力してください。

(2) 線審席は対角線に設置します。

(3) 困った場合や疑問な点・不明な点が出た場合は、勝手に判断せずレフェリーを呼び、指示を仰いでください。

6. （公財）日本バドミントン協会競技規則 第16条について

(1) プレーの継続、不品行や不愉快な振る舞いに対して厳正に対処します。

<第7項の履行（1 警告）→（2 フォルト）→（3 限界を超えた場合は失格）>

(2) 2項により、第1ゲームと第2ゲームの間・第2ゲームと第3ゲームの間に、60秒を超えないインターバルを認めます。

インターバルの終了20秒前にはコートに入ってください。第3ゲームのチェンジエンスにインターバルはもうけません。

(3) 試合中の水分補給は認めますが、そのためだけのタイムの要求は禁止です。汗拭きなどを許可された時等に速やかに行って下さい。

7. 試合間のインターバルについて

(1) 各種目とも、試合が連続する場合は、最低10分間のインターバルをとります。

8. 試合中のサイドコーチ（助言）について

(1) インターバル時（各ゲーム間）一度に2名まで（監督・コーチ・マネージャー・他選手を含む）が選手のいるエンドに行くことができ、サイドコーチを認めます。ただし、選手をベンチに呼んだり、線審等をしている者がサイドコーチをすることはできません。

(2) 試合中、選手・コーチ・チーム関係者は、iPad・携帯電話等のモバイル機器を使用してアドバイスやサイドコーチをすることは認めません。

(3) インプレー（ラリー中）以外ゲームの遅延や相手の選手等を批判するような内容にならないようにして下さい。各選手は、サイドコーチに対しても速やかに次のプレーに入るようにして下さい。

9. コートサイドのかごについて

(1) コートサイドにはかごやドリンクケースは設置しないので、バッグ等を持参し、コートサイド所定の場所に置き、ドリンクもスクイズボトルなど、倒れてもこぼれない容器で各自のバッグに収容してください。

(2) 交換用のラケットは必ず用意してください。ガットが切れた状態のラケットで試合をすることは認められません。

また、ラケットを取りにコートを離れることも認められません。

10. 進行について

(1) 1日目は、トーナメントをAは1/4、Sは1/8に分けたグループで運営してもらいます。

2日目はAは参加全選手で、Sは1/2に分けたグループで運営してもらいます。